

イタリアのマドリガーレを 読む、歌う、奏でる

初心者のためのイタリア語詩（韻律）の分析・理解と演奏

韻律なしのイタリア語なんて
自動音声みたいなものですが？



あらあら、音符だけを追いかけて
演奏していらっしやるのね。

日時 2023年11月5日(日) 16時から19時ごろ

会場 大阪市立大淀コミュニティセンター 第3会議室

(大阪メトロ・阪急「天神橋筋六丁目」駅 11番出口から徒歩9分/
「大阪駅前」から大阪シティバス[34]にて「天神橋筋8」下車徒歩3分)

講師 山田高誌 (熊本大学 大学院人文社会科学部/教育学部音楽科 准教授)

器楽演奏指導 坂本卓也

受講料 前売 一般 4.000円 / 学生 3.000円 *受講時に学生証をご提示ください

当日 5.000円 *空席のある場合のみ会場にて受付・学生割引はありません

受講申し込み <https://tiget.net/events/256864>

問い合わせ sakamoto.music.studio.osaka@gmail.com, [@sakatomusicst](https://twitter.com/sakatomusicst)

主催 「坂本音楽スタジオ」 <https://sakamoto-music-studio.jp/>





Prima Parte.

CANTO



イタリアのマドリガーレを読む、歌う、奏でる

初心者のためのイタリア語詩（韻律）の分析・理解と演奏

本講座は、「西洋音楽」の出発点の「詩」の理論と構造を初歩から学び、作曲技法の理解、そして演奏に生かしてみようという欲張りな企画です。

音節の数、そしてアクセントと韻を縦軸と横軸にして編まれる「言葉の織物」としての「西洋詩」。今回は、音楽の言語であるイタリア語にフォーカスをあて、18世紀のオペラのアリア、そして、イタリア語を「母語 = Madre lingua マドレ・リングワ」として登場した、17世紀の「マドリガーレ」を実例としながら、詩形の中に読み手の“目線”や“気持ち”を読み解いていきたいと思ひます。

もちろんイタリア語ができなくても全く大丈夫。「詩の理論」は、シェークスピアをはじめとする英語詩、フランス語詩、ドイツ語詩と共通しているので、これからの皆さんの音楽生活を豊かにすることと思ひます。

講座の後半では、分析に用いるジェズアルドとモンテヴェルディのマドリガーレをいくつか、皆さんと共に演奏する予定です。演奏への参加は任意で、歌（ソプラノからバスまで）でも器楽（基準ピッチ A=440Hz）でも大丈夫です。楽譜は10月中旬にPDFでお送りします。



受講申し込み <https://tiget.net/events/256864>

講師 山田高誌（やまだ たかし）

専門は音楽学、イタリア・オペラ史。早稲田大学卒業、大阪大学大学院文化表現論（音楽学）博士後期課程、およびバリー音楽院上級ディプロマ（記譜史）修了。日本学術振興会特別研究員（SPD・東京芸術大学）、同会海外特別研究員、大阪大学大学院助教、神戸女学院大学院音楽研究科、東京芸術大学非常勤講師などを経て、現在、熊本大学大学院人文社会研究部・音楽文化学講座 / 教育学部音楽科准教授。

18世紀のナポリのオペラ、劇場について楽譜、台本、史料から多角的に調査を行っている。共著に『Da Napoli a Napoli』（Lucca: LIM, 2014）他、論文多数。

また楽譜校訂を通して作品の復活蘇演に取り組み、これまでポルポラ《アグリッピーーナ》（1708）、チマローザ《アテネ建国》（1788）、チマローザ《秘密の結婚—ナポリ稿》（1792）などの校訂を行いウィーン、東京などで世界復活上演、録音を行うほか、東京都北とびあ音楽祭（ベルゴレージ生誕300年記念、2010）監修、ドメニコ・スカルラッティ音楽祭（東京、2008）主催。在コルトーナ、Accademia Toscanaによるチマローザ校訂全集編集委員。イタリア学会評議員。



キャンセルポリシー

10月22日（日）正午までにキャンセルのご連絡をいただいた場合、一律550円のキャンセル料と振込手数料を差し引き、銀行振込にて11月末日までに返金します。
10月22日（日）正午以降のご連絡 または 連絡なしに受講されなかった場合、お支払い済みの受講料は返金しません。

受講申し込み <https://tiget.net/events/256864>

問い合わせ sakamoto.music.studio.osaka@gmail.com, [@sakatomusicst](https://twitter.com/sakatomusicst)

主催 「坂本音楽スタジオ」 <https://sakamoto-music-studio.jp/>

